目的：公共交通利用を促進し、市内周遊性を向上

- ハンズフリーチケッティングにより、交通と施設の利用履歴に基づき、事後決済による精算型の割引等を盛り込んだ市内周遊サービスを提供し、市内住民・観光客等の交通利用促進を図る

事業内容：ハンズフリーチケッティングを活用した観光周遊

【交通サービスの高度化】
- 駅やバス停、施設等に設置したビーコンをアプリが検知し、自動的にアプリ画面に表示された対象の券種をタッチすることで、交通・施設等で利用できるシステムを導入し、公共交通や施設等を対象とした事後決済可能な市内周遊サービスを提供した

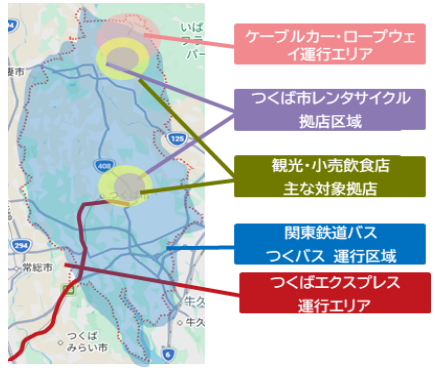
【モビリティデータの取得・活用】
- 交通利用ODデータや利用実績、地域人流のGPSデータ、つくチケアプリデータを取得し、事業者ニーズに基づいた分析を実施した
- 分析結果から、地域公共交通計画や路線再編、観光施策施策への活用可能性を見出した

【エンドコンテンツとの連携】
- 医療関連施設のスタッフや移動制約者の親族が移動制約者の位置や移動履歴を見守り画面より確認ができるシステムを導入。既存システムを流用し、滞在場所がより見やすくなるようUI等を改修した

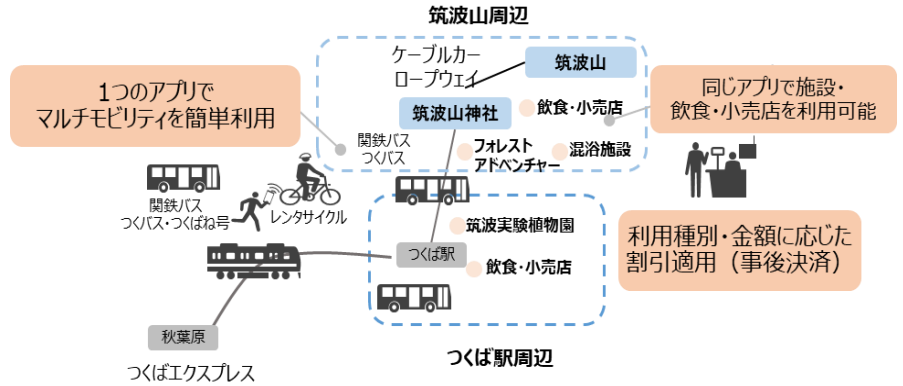
効果

- 課題：自動運転バスやパーソナルモビリティ等の整備・運用を展開している一方、各モビリティ毎の運賃精算になっており、統合的なチケッティング連携を図れていない
- 効果：1,113人のユーザに対し、1つのアプリで鉄道、バス、レンタサイクル、ケーブルカー、ロープウェイ、観光施設、小売の7業種を利用可能とする統合的なチケッティングを実現した

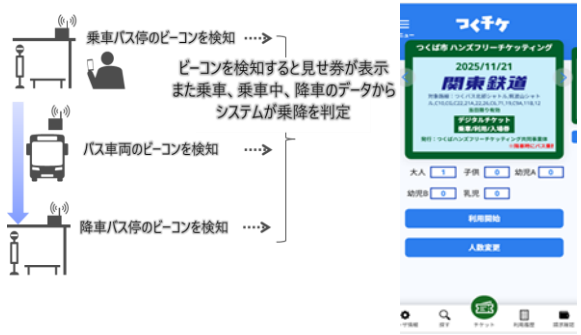
【実施エリア】
- つくばエクスプレス
  - 秋葉原・北千住・市内4駅（みどりの、万博記念公園、研究学園、つくば）
- 関鉄バス
  - つくば駅および筑波山を通る主な路線
- つくバス（北部シャトル）
- 筑波山口・筑波駅前レンタサイクル
- 筑波山ケーブルカー・ロープウェイ
- 筑波山・つくば駅周辺の観光・小売・飲食



【本事業の取組の全体像】

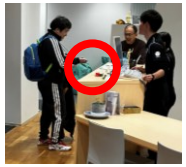


【ハンズフリーチケッティングの導入】



【医療分野との連携実証】









MLIT
Copyright© 2025 by MLIT. All rights reserved.

プロジェクトの効果

課題に対する効果

#	課題	効果
1	自動運転バスやパーソナルモビリティ等の整備、運用を展開している一方、各モビリティ毎の運賃精算になっており、統合的なチケッティング連携を図れていない	1,113人のユーザに対し一つのアプリで7業種、5つの交通モードを利用可能とし、統合的なチケッティングを実現した
2	行楽シーズン等に筑波山への需要が集中するが自家用車利用が大半であり道路渋滞によりバスの定時運行が妨げられるなど交通事業者の課題となっている	本実証により筑波山への移動手段として64%が公共交通を利用(従来比+49%)し、公共交通利用により渋滞緩和に寄与した
3	市内、市外住民双方に利便性を確保した地域公共交通サービスの提供が必要	1,113人のユーザに対し、120種の地域公共交通サービスを提供した。市内住民は、より長い1カ月間での利用実績で割引適用し日常生活で利用促進を図った。市外住民は秋葉原、北千住の都内駅をサービス対象とすることで利用者を拡げた。
4	持続可能な交通整備のためには、高齢者・障がい者などの移動制約者の交通利用の促進や地域医療などとの施設連携施策を検討する必要がある	117人の関係者に対しハンズフリーでのバス乗車、リハビリ医療施設利用サービスを提供し、ご家族向けに見守りサービスを提供。アンケート調査においては実用化を期待する意見も確認できた。

KPI

【凡例】 赤字:目標達成　青字:目標未達成

#	測定項目	KPI	計測方法	計測頻度・回数	事業実施年度の目標値	最終結果	達成/未達成の原因
1	周遊企画サービスのアカウント登録数増加	MaaS会員登録数(うち周遊企画サービス利用分)	システムを確認	実証期間中毎月	100人	1,113人	メディア取材会の実施、各種媒体記事への掲載、広告プロモーションにより、多くのユーザの興味を引き付け目標利用者数を達成した。
2	移動制約者の交通利用増加	MaaS会員登録数(うち医療MaaS利用分)	システムを確認	実証期間中毎月	100人	117人	昨年度の実証と比較し乗車可能なバス路線の増加により参加できるユーザが増えた。
3	MaaSアプリ利用者の利便性向上	MaaSアプリ利用者のサービス満足度	アンケート	実証期間後集計(年1回)	アンケート回答の平均値3以上	3.98	割引適用により比較的安価で移動・周遊・観光体験ができる点が特に魅力的に映り評価に繋がった。
4	データ分析の有用性指標(1)	事業者・自治体の利用満足度	アンケート	実証期間後集計(年1回)	アンケート回答の平均値3. 5以上	4.25	各事業者の交通計画や観光施策等の施策活用に有効な分析結果との評価をいただいた。
5	周遊企画サービスの種類	企画乗車券の券種	システムを確認	実証期間後集計(年1回)	約120種	120種	各業種の事業者様と調整を重ねた結果予定通りご参画いただくことができ、それに応じて目標の種類を提供することができた

MLIT Copyright© 2025 by MLIT. All rights reserved.